

| | | | | | |
|---|---|---------------------------------|--|---------------------------------|--|
| 大島商船高等専門学校 | | 開講年度 | 令和03年度 (2021年度) | 授業科目 | 卒業研究 |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0216 | | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 実習 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 6 | |
| 開設学科 | 商船学科 | | 対象学年 | 5 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 6 | |
| 教科書/教材 | | | | | |
| 担当教員 | 千葉 元,久保田 崇,木村 安宏,前畑 航平,森脇 千春,村田 光明,岩崎 寛希,清水 聖治,川原 秀夫,朴 鍾徳,小林 孝一郎,渡邊 武,山口 康太,中村 泰裕,浦田 数馬,杉本 昌弘,山口 伸弥 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 卒教研究では、技術者としての研究能力、開発能力、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を養うことを目的としている。学生は各研究室へ配属され、指導教員から、研究に関する指導を直接受ける。中間発表、最終発表の2回の研究発表を実施するとともに、卒業論文の執筆が義務付けられている。 具体的な学習目標は以下の通りである。 (1) 技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルを修得することができる (2) 創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができる | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | | 標準的な到達レベルの目安 | | 未到達レベルの目安 |
| 到達目標 1 | 技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルを修得することができる、それぞれが十分なレベルに達している | | 技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルを修得することができる | | 技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルのいずれも修得できない |
| 到達目標 2 | 創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができる、それが十分なレベルに達している | | 創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができる | | 創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができない |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 本校 (1)-a 商船 (2)-a | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 卒教研究では、技術者としての研究能力、開発能力、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を養うことを目的とし、学生は各研究室へ配属され、指導教員から、研究に関する指導を直接受ける。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 各教員が研究テーマの取組姿勢・目標達成度・発表等を考慮して評価する。 配属された各担当教員のもとで与えられたテーマに対して研究を行い、自らが率先して課題などに取り組む。 | | | | |
| 注意点 | | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 前期 | 1stQ | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| | | 1週 | 研究計画 | 指導教員及び研究テーマの調整できる。 | |
| | | 2週 | 研究計画 | 研究計画ができる。 | |
| | | 3週 | 文献調査 | 文献調査ができる。 | |
| | | 4週 | 文献調査 | 文献調査ができる。 | |
| | | 5週 | 文献調査 | 文献調査ができる。 | |
| | | 6週 | 問題分析 | 問題分析ができる。 | |
| | | 7週 | 問題分析 | 問題分析ができる。 | |
| | 2ndQ | 9週 | 問題分析 | 問題分析ができる。 | |
| | | 10週 | 問題解決 | 問題解決ができる。 | |
| | | 11週 | 問題解決 | 問題解決ができる。 | |
| | | 12週 | 問題解決 | 問題解決ができる。 | |
| | | 13週 | 発表タイトル決定 | 発表タイトル決定ができる。 | |
| | | 14週 | アブストラクト作成・提出 | アブストラクト作成・提出ができる。 | |
| | | 15週 | プレゼンテーション資料作成 | プレゼンテーション資料作成ができる。 | |
| | | 16週 | 中間発表 | 前期までの研究内容をまとめて中間発表ができる。 | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 研究計画 | 研究計画ができる。 | |
| | | 2週 | 研究計画 | 研究計画ができる。 | |
| | | 3週 | 文献調査 | 文献調査ができる。 | |
| | | 4週 | 文献調査 | 文献調査ができる。 | |
| | | 5週 | 文献調査 | 文献調査ができる。 | |
| | | 6週 | 問題分析 | 問題分析ができる。 | |
| | | 7週 | 問題分析 | 問題分析ができる。 | |
| | | 8週 | | | |
| | 4thQ | 9週 | 問題分析 | 問題分析ができる。 | |
| | | 10週 | 問題解決 | 問題解決ができる。 | |
| | | 11週 | 問題解決 | 問題解決ができる。 | |

| | | | |
|--|-----|-----------------------|----------------------------|
| | 12週 | 問題解決 | 問題解決ができる。 |
| | 13週 | 発表タイトル決定 | 発表タイトル決定ができる。 |
| | 14週 | アブストラクト作成・提出、論文提出（1次） | アブストラクト作成・提出、論文提出（1次）ができる。 |
| | 15週 | プレゼンテーション資料作成 | プレゼンテーション資料作成ができる。 |
| | 16週 | 最終発表、論文提出（2次） | 最終発表、論文提出（2次）ができる。 |

評価割合

| | 指導教員による総合評価 | 発表及び成果物の成績 | 副査の評価 | 合計 |
|---------|-------------|------------|-------|-----|
| 総合評価割合 | 40 | 40 | 20 | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 専門的能力 | 40 | 40 | 20 | 100 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |